

チェルノブイリ・フクシマ 京都の集い

2月15日(日)

午後2時～4時30分



武藤 類子

講演 福島原発事故の15年とこれから
武藤類子さん(福島県三春町在住
福島原発告訴団団長)



映画 原発の町を追われて

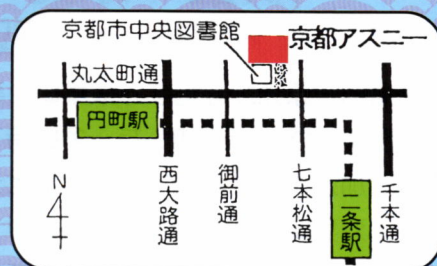
～避難民・双葉町の記録～ 続編

監督：堀切さとみ 2013年作品／26分

報告 原発賠償訴訟・京都原告団

京都アスニー

(中京区丸太町七本松西入北側)
市バス「丸太町七本松」下車
JR円町駅・東へ徒歩10分



参加費 1,000円 (高校生以下無料)

主催 チェルノブイリ・フクシマ京都実行委員会

連絡先 ☎075-465-2451 (佐伯)

福島原発事故から 15 年 ～今も続く被害

2011 年 3 月 11 日の東日本大地震に端を発する福島原発事故は、福島県のみならず東北・関東甲信・東海地方に放射能公害をもたらし、約 20 万人もの避難者が出ました。さらに農畜産物・魚介類に甚大な被害をもたらしました。

あれから 15 年。にもかかわらず原子力緊急事態宣言はいまだ発令中です。原則、立ち入り禁止の帰還困難地域は、双葉町、浪江町など 7 市町村に残り、いまだバリケードが設置されています。その多くが森林です。そこで暮らすイノシシやツキノワグマから基準値を超える放射性セシウムが 2025 年秋、検出されています。

さらに放射能汚染水の放出が福島県漁連や全国漁連の反対を押し切って、安全な処分方法があるにもかかわらず、続けられています。

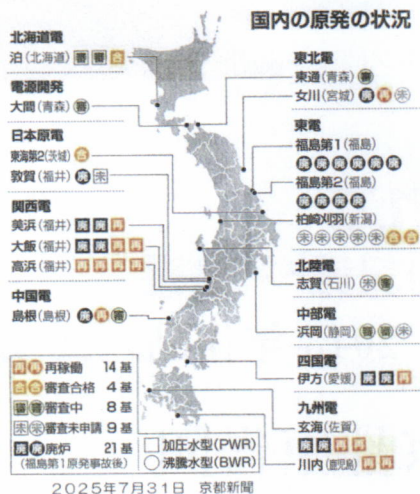


東京電力福島第 1 原発＝2 月（ヘリから）
2025 年 3 月 12 日 京都新聞

次の原発大事故をおこさないため いま一度、福島原発事故から学ぼう

2011 年、59 基あった原発は次々と廃炉決定がなされ、再稼働許可が出ていないものも含め現在 33 基。新潟県の東京電力・柏崎原発などお金をバラ撒くことで再稼働へのゴリ押しがなされています。そもそも東京電力に再稼働の資格があるのでしょうか。

関西電力は 7 基もの老朽原発を再稼働させています。いま福島原発事故から学ぶことは重要です。



2月15日（日） 京都アスニー 福島・武藤類子さんが講演

福島県三春町の森の中で自然とともに歩む喫茶店を営んでいた武藤類子さんが、福島原発事故による放射能汚染でその暮らしが出来なくなって 15 年になります。

その間、原発を止められなかった自らをも問いつつ、事故の責任を問う福島原発訴訟団の団長として刑事訴訟の先頭に立ってこられました。しかし東京電力の旧経営陣は誰一人、有罪とはなりません。

事故後の 15 年を振り返りつつ、福島で何が起って、現状はどうなのか。そして、これからをお話していただきます。

映画「原発の町を追われて」 ～避難民・双葉町の記録～続編（2013 年作品）

福島第一原発が立地する双葉町。事故から二週間後、町は役場機能を埼玉県加須市に移し、廃校の高校を拠点に避難生活が始まりました。多い時で全人口の 2 割に当たる 1400 人が教室で暮らし、2013 年末の避難所閉鎖後も加須市に残る人は多かったと云います。

その双葉町の避難生活を追いつけてきた堀切さとみ監督のドキュメント映画「原発の町を追われて」は全 4 作になりました。今回は事故後まもない 2013 年に作られた第 2 作を上映します。ぜひご参加下さい。

主催 チェルノブイリ・フクシマ京都実行委員会

☎075-465-2451（佐伯）

はんげんぱつ新聞京都支局／女性会議・京都／いゑみん婦人民主クラブ・京都／平和の会／京都平和フォーラム／きょうと教組／自治労京都府職員労働組合／社会民主党京都府連合／使い捨て時代を考える会／安全農産供給センター／原発賠償訴訟・京都原告団を支援する会／きょうとグリーンファンド／京都反原発めだかの学校／京都 YWCA／日本チェルノブイリ連帯基金・京都／アジェンダ・プロジェクト京都／福島原発訴訟団関西支部／堺町画廊